

令和7年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

幅広い分野について興味・関心を有し、次のア～ウのすべてを満たす生徒

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に高い向上心をもって取り組むことができること。

イ 他者の考えを的確に理解し、かつ、自分の考えを明確に発信できる力をもつこと。

ウ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に積極的に取り組む意志があること。

2 選抜資料

| | |
|---------|--------------------------|
| (1) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (2) 作文 | 字数：500字以上600字以内 検査時間：50分 |
| (3) 面接 | 受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：3分 |

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔150点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限15点）したものを調査書の得点とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 |
| イ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項 | 生徒会活動、部活動、その他の活動等における顕著な実績などについて加点する。 |
| ウ 総合所見 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |

(2) 作文〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|-------------|----------------------------------|
| ア 文章の量・字・構成 | 適切な文章量で、誤字がない。また、わかりやすい構成になっている。 |
| イ 論旨・主張 | 論旨・主張が明確である。 |
| ウ 表現力 | 文章表現が豊かである。 |

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------|---------------------------------|
| ア 面接に臨む態度 | 礼儀正しい態度で、適切な受け答えができる。 |
| イ 質問に対する応対 | 自分の考えや主張を明確に表現し、質問に対して的確に答えている。 |

| | |
|-----------|-----------------------|
| ウ 高校生活の意欲 | 高校生活における目標を具体的に述べられる。 |
|-----------|-----------------------|

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「作文の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。ただし、作文または面接の評価で評価cが付いている場合は慎重に審議する。

<総得点の満点の内訳>

| 調査書の得点 | | 作文の得点 | 面接の得点 | 総得点 |
|----------|-----|-------|-------|------|
| 評定 (K=1) | 加点 | | | |
| 135点 | 15点 | 30点 | 30点 | 210点 |

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。